

# 10. グリーン電力証書

## 1. グリーン電力証書とは

### グリーン電力

グリーン電力とは、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しない風力、太陽光、バイオマス（生物資源）などの自然エネルギーで発電された電力のことです。石油を初めとする化石燃料に比べ、環境への負荷が小さいエネルギーと考えられています。

### 自然エネルギーの価値

自然エネルギーは、「電気そのものの価値」に加えて、省エネ（化石燃料の節減）やCO<sub>2</sub>排出抑制といった付加価値を持った電力です。その価値を「環境価値」と言います。つまり、自然エネルギーにより発電された電力は、「電気そのものの価値」と「環境価値」の2つを持っているのです。

### グリーン電力証書とは

グリーン電力証書とは、グリーン電力が持つ「電気の価値」と「環境価値」を切り離して扱うためのものです。

「グリーン電力証書」という形で購入し、通常の電気と組み合わせることで、「自然エネルギーによって発電されたグリーン電力を使用している」とみなすこ

とができるのです。つまり、「自分では太陽光発電などを設置し発電はできないが、グリーン電力を使用したい」という人や団体が、「グリーン電力証書」を購入することで、自然エネルギーを選択して使用することができるようになるのです。

通常、送電線に流れている電力は、火力、水力、原子力、グリーン電力が混ざって送られてきます。グリーン電力証書の購入が、自然エネルギーを選択している証拠となるのです。

### グリーン電力証書の使用例

このグリーン電力証書は、現在様々な形で使用されています。企業では、ソニーや三井住友海上、アサヒビールなどがビルの電力に当てています。例えば、ソニーでは、本社ビルの年間電力使用量の50%分をグリーン電力でまかっています。これらの企業では、環境負荷削減や自然エネルギーの普及、CSRなどの観点からグリーン電力証書を購入しています。

## 2. 大学での使用例

では、大学ではどのように使用されているのでしょうか？企業などに比べるとその規模は小規模になってしましますが、現在、学園祭や研究室、授業単位で使用され始めています。

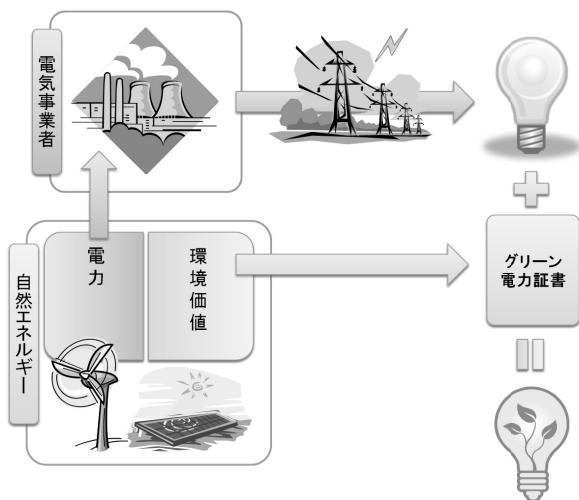
### 学園祭でのグリーン電力証書

一部の学園祭ではグリーン電力証書を購入し、使用電力をグリーン化しています。

朝日大学では、2009年10月に開催した「第39回朝日祭」に、「そらべあグリーン電力証書」を購入、1,000kWh分のグリーン電力を取得し学内で行われたイベントやライブに使用しました。

学園祭に参加する学生だけでなく、教職員、そして学園祭を訪れる方々にも地球温暖化防止への理解を深めてもらうと企画されました。

この他にもいくつかの大学で、グリーン電力証書を学園祭で使用するという試みが行われました。学生が



グリーン電力証書の仕組み

## その他の学園祭に導入した大学

慶應義塾大学  
多摩大学  
東京海洋大学  
東京女子大学  
麻布大学

矢上祭  
雲雀祭  
海鷹祭  
VERA祭  
麻布大学祭



提供：日本風力開発株式会社

### 「そらべあグリーン電力証書」

中心になって作る学園祭ならではの企画です。

学園祭では大量のゴミが出るために、多くの大学ではゴミの分別を徹底しています。そこからさらに踏み込んで、電力もエコにしたい。そういう気持ちや思いが集まり、「グリーン電力証書」を使用した学園祭が実施されました。「通常、グリーン電力証書は小口購入でも1,000kWhからの購入ですが、学園祭の規模によっては200kWh程度に収まってしまう場合があります。そういった学園祭では、1,000kWhの証書を共同購入という形で分割し、各学園祭に使用」できるそうです（そらべあ基金学生事務局桶田さんより）。

## 研究室単位での導入（慶應義塾大学）

グリーン電力証書は、小さい単位での使用も可能です。

慶應大学の浜中研究室では、大学の施設に設置されているプリンターとPCの使用電力をグリーン電力証書で自然エネルギーに切り替えました。レジ袋削減プロジェクトの実施によって、2007年4月から2008年12月末までに発生した252,440円の預かり金を使ってグリーン電力証書を導入。購入した電力は購入した電力量はメディアセンター1階の

モノクロ&カラープリンタ計4台、ワンストップPC計5台に充てたそうです。

## 授業単位での導入（フェリス女子学院大学）

授業単位で導入している大学があります。フェリス女子学院大学です。学生団体のエコキャンパス研究会が、グリーン電力を購入する目標を掲げ、2010年度の一部の授業への導入に成功しました。この授業へのグリーン電力の適用は全国で初めての試みです。

フェリス女子学院大学、エコキャンパス研究会顧問の佐藤先生によると、昨年のエコ大学ランキングの報告書にどこの大学でもまだ行われていないこと知り、当代表だった中澤さんとともに、導入してみようと思ったそうです。フェリスのシンボルでもある風車を支援したいという思いもあったそうです。

そこで、各学部の教授会にて当時3年生だった中澤さんが企画のプレゼンテーションを行いました。そこで、計7名の先生方が賛同してくださり、個人研究費からの支出という形でグリーン電力証書を購入することになりました。これにより、前期の8科目（おのおの計15回）の授業がグリーン電力証書でグリーン化されました。



取材に答えるエコキャンパス研究会の中澤さん（左）、佐藤先生（右）

## 大学全体への導入（和歌山大学）

大学全体への導入もほとんど行われていませんが、エコ大学ランキングの調査より、和歌山大学がグリーン電力証書を大学全体の電力用に対して取得していることがわかりました。

和歌山大学は2009年度、97,830kWhものグリー